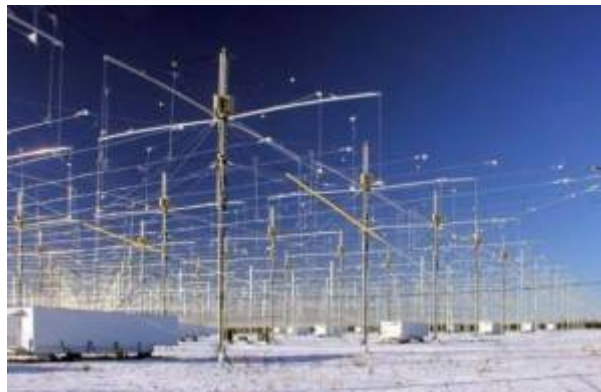


HAARP: 天候操作、電磁波戦争に用いられる秘密兵器

Stateofthenation2012 (Revealing the True State of the Nation)

January 5, 2014



HAARP について憂慮しているのは陰謀論者だけではない。ヨーロッパ連合 (EU) はこの計画を地球的関心事だとして、その健康と環境への危険をもっと明らかにするように要求する決議をした。こうした憂慮にもかかわらず、*HAARP* の職員たちは、この計画は特に不気味なものではなく、電波科学研究施設のようなものだと主張している。——CBC による *HAARP* に関するテレビ・ドキュメンタリーから引用

HAARP (High frequency Active Auroral Research Program, 高周波活性オーロラ研究計画) は、あまり知られていないが決定的に重要な、アメリカの軍事防衛計画で、近年、特定の方面では、かなりの議論を引き起こしている。**HAARP** の職員たちは否定しているが、一部の尊敬される研究者たちによれば、**HAARP** の秘密にされた電磁波戦争能力は、2020 年までに地球の全面的支配を達成するという、米軍の明文化された目標 (リンク) を推進するように目論まれている。また他の研究者たちは、**HAARP** は、天候の操作、地震や津波を起こすこと、地球上の通信システムの遮断、さらにもっと多くのことに用いることができ、現に用いられていると主張している。

この計画の主要な面は、「国家安全保障」という名目で秘密にされている。しかし、戦争に利用することのできる **HAARP** と電磁波兵器が存在していることは間違いない。**HAARP** の公式サイトによれば、「**HAARP** は、イオン圏の特性と振舞の研究を目指す科学的目論みであり、民間利用と防衛の双方の目的のために、通信と監視の能力向上を目指して、これ

を理解し利用することに特に重点が置かれている。」イオン圏は、地表上約 50 から 1,000 キロメートルに及んで広がる、我々の大気圏のデリケートな上層部である。

これらの実験は、電磁波を用いて、パルスをもつ、方向づけられたエネルギー・ビームを発射し、「一時的にイオン圏の限定された領域を刺激する」ものだと、HAARP ウェブサイトは認めている。一部の科学者たちは、意図的にこの敏感な層を乱すことは、大きな、災害となる結果を生ずる可能性があると言っている。オッタワ大学の Michel Chossudovsky 博士や、アラスカの Nick Begich 博士のような憂慮する HAARP 研究者たちは、こうした攪乱は津波や地震をさえ引き起こすことがあるという証拠を提出している。

2 つの大きな、鍵となるメディアのドキュメンタリー——カナダの公共放送ネットワーク CBC によるものと、もう 1 つは「ヒストリー・チャンネル」のもの——は、HAARP の内部の仕組みを、かなりわかりやすく説明している。かなり徹底的に調査された CBC のドキュメンタリーは、冒頭に引いたような重要な指摘をしている。

HAARP や類似の電磁波兵器（リンク）に疑惑を表明する欧州連合（EU）については、ここをクリックされたい（リンク）。この効果的な文書の 24 項目は、このような言葉遣いになっている——EU は「HAARP を、その環境への甚大な影響から考えて、地球規模の懸念材料とみなし、これ以上の研究やテストが行われる前に、その法的・生態学的・倫理的に生ずる意味について、国際的な、独立した団体による調査が行われることを要求する。」この啓発的な文書はさらに、彼ら EU は、アメリカ政府が HAARP に関する証拠を送るようという要求を、拒否し続けているのは残念だと述べている。

この魅力ある 15 分の CBC ドキュメンタリーのビデオについては、ここをクリックせよ（リンク）。それ以上に詳しく解明している、HAARP や他の電磁波戦争用の秘密兵器に関する、「ヒストリー・チャンネル」の 15 分ドキュメンタリーについては、ここをクリックされたい（リンク）。次に引用する 2 か所は、ヒストリー・チャンネルのものである——

「電磁波兵器は、稲妻の電流より何百倍も強力な、目に見えない一撃の力を潜ませている。あるものは上空から敵のミサイルを爆破することができ、別のものは、戦場で敵の兵士の眼つぶしをすることができ、また別のものは、皮膚の表面を焼くことによって、暴徒化した群衆をコントロールすることができる。大都市の上空で爆発させるならば、電磁波兵器は一瞬ですべての電子機器を破壊することができる。それらはすべて、強力な電磁パルスをつくり出す、方向づけられたエネルギーを用いている。」

「方向づけられたエネルギーは、たいへん強力な科学技術なので、それはイオン圏を

熱して、天候を戦争用兵器に変えることができる。洪水を用いて都市を壊滅させたり、竜巻を用いて、砂漠で近づいてくる敵を殺したりするのを想像してみればよい。軍隊は莫大な時間をかけて、戦争の環境のコンセプトとして、天候操作の研究をしてきた。ある電磁波パルスが都市の上で爆発したとしたら、基本的に、あなたの家庭のすべての電子機器はウィックして消え、それらは永遠に破壊されたままになる。」

このような大破壊的な秘密兵器が開発されていることを、いまだに疑っている人々のために、ここに、ニュージーランドの主要な新聞 *New Zealand Herald* に載った記事（リンク）からの面白い一節を示す——

「トップ・シークレットの戦時実験が、津波爆弾（tidal wave bomb）を完成させるために、オークランド海岸沖で行われたことが、極秘ファイルから明らかになった。米国防省の首脳たちは、もしこのプロジェクトがああ戦争の終わる前に完成していたなら、原爆と同じくらいの効果を果たしていただろう、と言っている。Project Seal（アザラシ計画）と呼ばれている、このツナミ爆弾（リンク）の詳細は、「ニュージーランド外交・貿易省」（Ministry of Foreign Affairs and Trade）の公開した、53年も昔の文書の中に見出される。」

もし軍部が、半世紀以上も前に、ツナミを起こすことのできる兵器をひそかに開発していたのだとしたら、現在は、どのように進んだ恐ろしい兵器が、使えるようになっていることだろう？ そして、50年以上も前に開発された秘密兵器について、一般大衆がいまだに知らないというのは、なぜだろう？ なぜメディアが、このような高度に重要な問題を報道しないのかについては、ここをクリックされたい（リンク）。明らかに、軍部は、ツナミを起こし、おそらく地震やハリケーンをも起こさせる技術を持っている。今、我々は行動を起こし、この重要な問題を一般に知らせなければならない。

米務省でトップの将軍たちのために通訳の仕事をしてきた私は、軍の計画者たちが常に、可能な最も破壊的な兵器の開発に興味を持っていることを知っている。しかしこれらの兵器は、国家安全保障という名目で、可能な限り長い間秘密にされている。軍と政府双方での、厚い層をなす深い秘密性のために、何年もかかって開発されてきた死と破壊の不気味な技術を知る人は、ごく少数である。大きな防衛計画で、一般の目から何年も、何十年も、うまく隠されてきた例はいくらでもある。

あの巨大な「マンハッタン計画」（最初の原爆開発）はそのような例の一つである。この計画を推進するために、テネシー州オークリッジに一つの都市ができていたことは、州知事からさえうまく隠されていた。ステルス爆撃機は、長年にわたってトップ・シークレット

であり、一般大衆は、いまだにその技術を完全に知ることはできない。このように高度に組織された軍と諜報機関を使ってこそ、我々の世界の「権力エリート」(リンク)は、政府内の枢要な同盟者と組み、メディアの法人権を所有することによって、HAARPに見られるような、大きな隠蔽工作と秘密作戦を続けることができている。

一部の研究者たちは、HAARPが、ハイチ地震や、インドネシアの津波や、ハリケーン「カトリーナ」のような、巨大な災害に関わっている可能性を指摘している。これらはHAARPの実験が、方向を間違えたということだろうか？ この大破壊をもたらす技術をコントロールしている内部の悪者分子によって、起こされたものであろうか？ もちろんこのような大災害は、自然の状態で規則的に起こっている。しかしいったんこの研究を始めると、これらの大災害のいくつかには、いくつかの非常に奇妙なことが見つかる。証拠は不十分ではある。にもかかわらず、この武器のもつ既知と未知の、大きな破壊的能力を考え合わせると、深刻な疑惑を拭い去ることができない。

ジェシー・ヴェントゥーラ (Jesse Ventura) は、かつて“Navy Seal” (海軍特殊部隊の一員) で、プロレスラーとなり、ミネソタ州知事となった人だが、彼はまた HAARP についてテレビ特別番組を行った。これはややセンセーショナルだったとはいえ、有用な情報を含んでいる。この番組のユーチューブはここで見ることができる (リンク)。